

指定校推薦入試 一般公募推薦入試 吹奏楽部推薦入試

アドミッション・ポリシー「入試種別ごとの受入れ方針」

指定校推薦入試

本学を専願とし、本学が指定した高等学校長（中等教育学校長）の推薦を受けた人物の受入れを目的としている。

音楽科／音楽コース等卒業見込みの者については、志願する専門により専門実技もしくは小論文の点数、グローバル教養コース面接の評価、さらに最終面接（学長、学部長）に加え、推薦書および調査書の評価を加えた総合的判定により合格者を決定する。

普通科卒業見込みの者については、志願する専門により専門実技もしくは小論文の点数、副科ピアノ（ピアノ専門は除く）の点数、グローバル教養コース面接の評価、さらに最終面接（学長、学部長）に加え、推薦書および調査書の評価を加えた総合的判定により合格者を決定する（特待生制度あり）。

一般公募推薦入試

本学を専願とし、高等学校長（中等教育学校長）の推薦を受け、かつ高レベルの演奏家コース特待生を目指す人物の受入れを目的としている。

この試験では、専門実技、副科ピアノ（ピアノ専門を除く）、音楽理論（楽典）、ソルフェージュの点数および最終面接（学長、学部長）に加え、推薦書および調査書の評価を加えた総合的判定により合格者を決定する。

吹奏楽部推薦入試

吹奏楽部連盟主催の吹奏楽コンクール等に出場する吹奏楽部に属している、本学を専願とする人物の受入れを目的としている。

専門実技は自由曲が課され、専門楽器のソロ曲のほか、吹奏楽コンクールで演奏したパート譜での受験も可能である。この専門実技の点数と面接（学長、学部長）の結果に加え、推薦書および調査書、部活動顧問発行の推薦書の評価を加えた総合的判定により合格者を決定する。

指定校推薦入試(一般型・特待生型)

■指定校推薦入試(一般型・特待生型)の特徴

「一般型」と「特待生型」の2種類から選択する専願入試

対象コース：器楽コース、声楽コース、グローバル教養コース(音楽学・音楽教育・文化創造マネジメント)

【一般型】

本学での勉学を強く希望し、本学を専願とする志願者で、高等学校長(中等教育学校長)の推薦が受けられ、かつ在学する高等学校(3年1学期または前期まで)または中等教育学校(後期課程、3年前期まで)の評定平均値が通知された基準を満たしている人(指定校に直接連絡します)。

【特待生型】

上記一般型の出願条件を満たし、かつ評定平均値が通知された基準を満たしている人(指定校に直接連絡します)。特待生は入学試験における専門別課題の成績によって選出される。

特待生に選出されなかった場合でも、合格基準を満たしていた場合は一般型で合格になります。

■出願資格

- 16頁に記載した出願資格に加え、下記のすべての要件を満たしている方
- 本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方
- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方
- 在学する高等学校長または中等教育学校長が推薦する方(評定平均値については、指定校に直接連絡します)

POINT!

- 第1志望を器楽コースまたは声楽コースとする場合、グローバル教養コース(音楽学専門、音楽教育専門、または文化創造マネジメント専門)との併願が可能。

その場合、第1志望の試験科目に加え「小論文」と「コース面接」が課されます。

- 一般型で合格した場合、その資格を保有したまま、器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験または演奏家コース選考試験が受験できます。

「演奏家コース選考試験」の詳細は、本要項76ページをご覧ください。

「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」の詳細は、本要項78ページをご覧ください。

※「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」と「演奏家コース選考試験」の両方に受験することはできません。

- 特待生型で合格した場合、その資格を保有したまま、演奏家コース選考試験が受験できます。または器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験を受験し、指定校推薦入試で選出された特待生の種類よりも上の特待生を目指すことも可能です。

「演奏家コース選考試験」の詳細は、本要項76ページをご覧ください。

「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」の詳細は、本要項78ページをご覧ください。

※「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」と「演奏家コース選考試験」の両方に受験することはできません。

■科目比重

◎器楽コース・声楽コース

出身科・コース	科目	専門実技	副科ピアノ	面接・調査書 ほか
音楽科/音楽コース等出身		100	—	30
普通科等出身		100	20*	30

*ピアノ専門除く

◎グローバル教養コース(音楽学専門・音楽教育専門) 高校出身科別・出身コース別

出身科・コース	科目	小論文	副科ピアノ (副科器楽)	コース面接	面接・調査書 ほか
音楽科/音楽コース等出身		100	—	10	30
普通科等出身		100	20	10	30

◎グローバル教養コース(文化創造マネジメント専門)

出身科・コース	科目	小論文	コース面接	面接・調査書 ほか
文化創造マネジメント		100	10	30

■入試日程

出願期間(消印有効)	入学試験日	合格発表日(簡易書留にて郵送)	入学手続期間(必着)
2019年11月1日(金) ┆ 2019年11月7日(木)	2019年11月17日(日)	2019年11月26日(火)	2019年11月27日(水) ┆ 2019年12月6日(金)

■特待生型の内容

指定校推薦入試（特待生型）は特待生Aと特待生Bがあります。器楽・声楽・グローバル教養コースで選出される特待生ではもっとも可能性の高い特待生制度です。

対象コース	種類	人数	特待生の内容
器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	特待生A	若干名	1年次の授業料年額の半額免除
	特待生B		1年次の授業料30万円免除

この入試方式による特典は、初年次（1年次）にのみ適用されます。2年次以降は各年次学業成績優秀者を特待生として選出します。

特待生Aの場合、後期分の授業料を減免します。

特待生Bの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消となり、入学年度に遡及し免除された授業料を返金していただきます。

- 学業成績不良
- 素行不良
- 遅刻・欠席が多い
- 休学または退学

■試験科目（一般型・特待生型）

試験科目は一般型と特待生型で区別はありませんが、現在所属している高校の学科（コース）が普通科か音楽科（音楽コースもしくはそれに準ずるコース）で違います。志願するコース・専門分野でも科目が違うので以下の表で確認してください。

●音楽科／音楽コースもしくはそれに準ずるコース卒業見込みの者

志願コース・専門		科目	面接	コース面接	専門別課題		副科ピアノ
					小論文	専門実技	
器楽コース	ピアノ（鍵盤楽器）	○	-	-	○【注1】	-	
	弦楽器/管楽器/打楽器	○	-	-	○【注1】	-	
声楽コース	声楽	○	-	-	○	-	
グローバル教養コース	音楽学・音楽教育	○	○	○	-	-	
	文化創造マネジメント	○	○	○	-	-	

【注1】

以下の楽器の志願者は、それぞれ括弧内に示す楽器で受験することができます。

オルガン（ピアノ）、チェンバロ（ピアノ）、ヴィオラ（ヴァイオリン）、コントラバス（チェロ）、ヴィオラ・ダ・ガンバ（ヴァイオリン、チェロ、ギター、コントラバス）、リュート（ギター）、トロンボーン（ユーフォニアム）、チューバ（ユーフォニアム）

●普通科等卒業見込みの者

志願コース・専門		科目	面接	コース面接	専門別課題		副科ピアノ
					小論文	専門実技	
器楽コース	ピアノ（鍵盤楽器）	○	-	-	○【注1】	○【注2】	
	弦楽器/管楽器/打楽器	○	-	-	○【注1】	○【注3】	
声楽コース	声楽	○	-	-	○	○	
グローバル教養コース	音楽学・音楽教育	○	○	○	-	○【注4】	
	文化創造マネジメント	○	○	○	-	-	

【注1】

以下の楽器の志願者は、それぞれ括弧内に示す楽器で受験することができます。

オルガン（ピアノ）、チェンバロ（ピアノ）、ヴィオラ（ヴァイオリン）、コントラバス（チェロ）、ヴィオラ・ダ・ガンバ（ヴァイオリン、チェロ、ギター、コントラバス）、リュート（ギター）、トロンボーン（ユーフォニアム）、チューバ（ユーフォニアム）

【注2】

ピアノ専門除く。オルガン専門およびチェンバロ専門は副科ピアノの試験が課されます。

【注3】

弦楽器/ギター専門、およびヴィオラ・ダ・ガンバ専門またはリュート専門をギターで受験する場合には、副科ピアノの試験は課されません。

【注4】

グローバル教養コース志願者（音楽学専門、音楽教育専門）は、ピアノ以外の楽器でも受験できます。ただし、本学器楽コースに設置される専門楽器に限ります（18ページ記載のAO入試注意事項参照）。

一般公募推薦入試

■一般公募推薦入試の特徴

専願入試

出願者全員を対象に特待生選考を行う。特待生に選出されなかった場合でも合格基準に達していれば演奏家コースとして合格。

対象コース：演奏家コース

■出願資格

- 16頁に記載した出願資格に加え、下記のすべての要件を満たしている方
- 本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方
- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方または卒業した方で入学時に20歳以下の方
- 在学する高等学校長または中等教育学校長が推薦する方

POINT!

●高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方またはすでに卒業している方でも入学時に20歳以下の方であれば出願可能

■特待生の内容

対象コース	種類	人数	特待生の内容
演奏家コース	特待生S	若干名	入学金・授業料・施設設備資金の年額免除
	特待生A		授業料年額の半額免除、一般維持費の年額免除
	特待生UG		1年次の授業料30万円免除

この入試方式による特典は、初年度（1年次）のみ適用されます。2年次以降は各年次学業成績優秀者を特待生として選出します。

演奏家コース特待生Sの場合、入学手続き時には一旦入学金を納付いただき、入学後に減免を実施します。

特待生Aの場合、後期分の授業料を減免します。

特待生UGの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消しとなり、入学年度に遡及し免除された授業料等を返金していただきます。

- 学業成績不良 ●素行不良 ●遅刻・欠席が多い ●休学または退学

■科目比重

◎演奏家コース（専門別）

科目	専門	専門実技	副科ピアノ	音楽理論 ソルフェージュ	面接・調査書 ほか
ピアノ	ピアノ	150	—	30	10
オルガン/チェンバロ	オルガン/チェンバロ	150	20	30	10
弦楽器/管楽器/打楽器/声楽	弦楽器/管楽器/打楽器/声楽	150	20	30	10

■入試日程

出願期間（消印有効）	入学試験日	合格発表日（簡易書留にて郵送）	入学手続期間（必着）
2019年11月1日（金） } 2019年11月7日（木）	2019年11月17日（日）	2019年11月26日（火）	2019年11月27日（水） } 2019年12月6日（金）

■試験内容

下記の試験科目を実施します。

- 専門実技…課題曲(44～47ページ)を参照
- 副科ピアノ(ピアノ専門以外)…課題曲(44ページ)を参照
- 音楽理論…楽典(50分)
- ソルフェージュ…下記①と②を受験すること

①初見視唱

②聴音

ピアノ・オルガン・チェンバロ専門:8小節程度の単旋律聴音・2声聴音・和声聴音の合計3題

鍵盤楽器以外の各専門:8小節程度の旋律聴音1題

(66～67ページの例題参照)

- 面接

合否判定は、上記の試験科目の結果に加え、高等学校長または中等教育学校長発行の推薦書および調査書を加えた総合評価とします。

■注意事項

- ①不合格の場合、本学で実施する他の入試方式を再受験することができます。
- ②専願での受験のため、合格者は他大学の受験を放棄するものとみなします。
- ③本学の指定校推薦入試との併願はできません。

吹奏楽部推薦入試

■吹奏楽部推薦入試の特徴

専願入試

吹奏楽部に属している高校3年生が対象

対象コース：器楽コース※対象楽器あり

音楽理論、ソルフェージュ、副科ピアノの試験がなく、入学前の事前学習もサポート

■出願資格

- 16頁に記載した出願資格に加え、下記のすべての要件を満たしている方
- 本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方
- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方
- 在学する高等学校長または中等教育学校長が推薦する方
- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方

POINT!

●音楽理論（楽典）、ソルフェージュ（聴音）、副科ピアノに自信がない方向き、入学前の事前学習もサポート

■募集専門

器楽コース

- コントラバス、ハープ
- フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン
- ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム
- 打楽器

※打楽器は小太鼓またはマリンバのいずれかで受験すること

■科目比重

◎器楽コース(募集の全専門共通)

科目	専門実技	面接・調査書 ほか
専門 募集の全専門共通	100	50

■入試日程

出願期間(消印有効)	入学試験日	合格発表日(簡易書留にて郵送)	入学手続期間(必着)
2019年11月1日(金) } 2019年11月7日(木)	2019年11月17日(日)	2019年11月26日(火)	2019年11月27日(水) } 2019年12月6日(金)

■試験内容

下記の試験科目を実施します。

● 専門実技

自由曲(1曲)…専門楽器のソロ曲のほか、吹奏楽コンクールで演奏したパート譜での受験も可

● 面接

合否判定は、上記の試験科目の結果に加え、在学高等学校長または中等教育学校長発行の推薦書および調査書、部活動顧問発行の推薦書を加えた総合評価とします。

■冬期音楽受験講習会受講

入学手続きを済ませた方全員に、2019年12月24日(火)～27日(金)に行われる「冬期音楽受験講習会(大学受験コース)」の音楽基礎科目授業、専門実技レッスン、副科ピアノレッスンを受講していただき、その際に学習進捗の確認を行います(受講料無料)。

なお講習会の詳細については、入学手続き後に別途、個別にお知らせをします。

■事前相談・体験レッスン

希望する志願者のみ

入学試験で実施する専門実技試験での自由曲選曲や、合格後に学習する音楽基礎科目のことについてなど、出願前に相談を希望する志願者は、

- 本学教員による事前相談(要申込・無料)
- 本学教員による体験レッスン(要申込・無料)

にお申込みください。

[お申込先](#) [入試センター\(電話03-3842-1024\)](#)